

風防足場移動時に発生した作業員の負傷について

平成30年11月16日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 土木部

1. 発生概要

1-1. 工事件名：
1F 1～4号機 H5エリアタンク他設置工事

1-2. 発生日時：
2018年10月2日(火) 12時35分頃

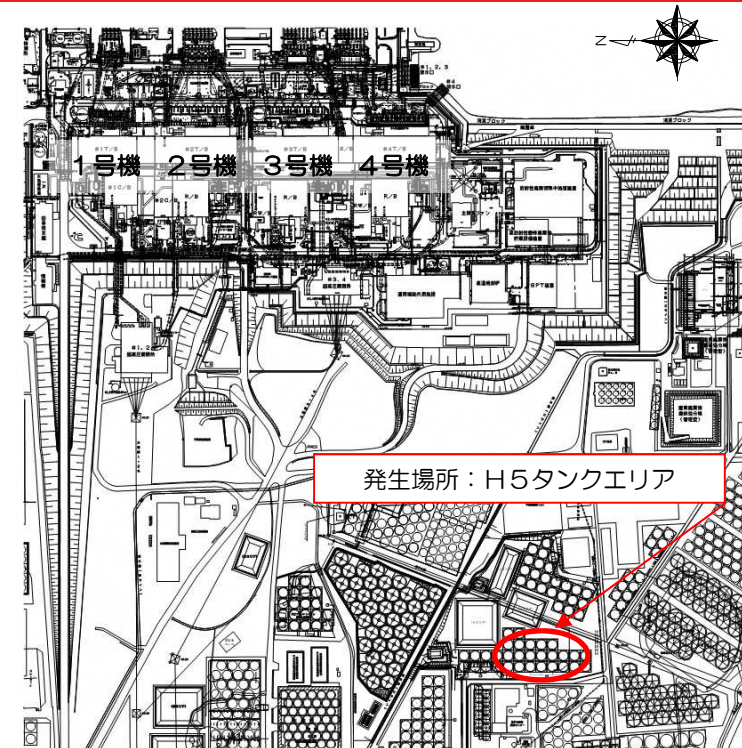
1-3. 発生場所：H5タンクエリア内

1-4. 発生概要：

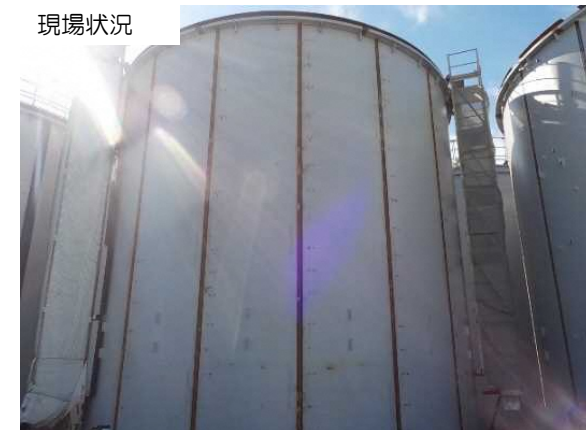
現地溶接型タンク建設現場において、被災者は溶接後の非破壊検査を行うために、風防足場へ上っていた。風の影響により風防足場が進行方向と逆方向へ急に動いた際、被災者は咄嗟にタンク上部の雨樋（風防足場のレール部）に右手を掛けてしまい、動いた滑車とレールの間に右小指が挟まれてしまった。

1-5. 被災者情報

- ・負傷者 44歳男性(一次下請作業員)
- ・経験年数 21年(1F経験 55日)
- ・傷害状況 右小指指尖部欠損
- ・装備 Gゾーン装備(構内用G作業衣、ヘルメット、綿手袋、ゴム手袋(2重)、DS-2マスク、安全帯(フルハーネス型)、短靴、膝当て)



現場状況



2. 災害発生時の現場状況（1 / 2）

- ① 被災者は風防足場の5段目に移動し、共同作業員1名が地上にて待機していた。（図1）
- ② 被災者は安全帯を手すりに掛け、上部固定ワイヤーを外し、共同作業員に風防足場を動かすよう合図を送った。
- ③ 共同作業員は、下部固定ワイヤーを外し、風防足場を後方から押す形で移動を始めた。（図2）
- ④ 約5m程度移動させた時に風防足場が押しにくくなったこと、進路上で障害となる昇降設備をどかすため、被災者に合図した後、風防足場を停止させた。
- ⑤ 共同作業員は風防足場の前方に移動し、片手で足場をつかみながら、進路上で障害となる昇降設備をどかさうとした。

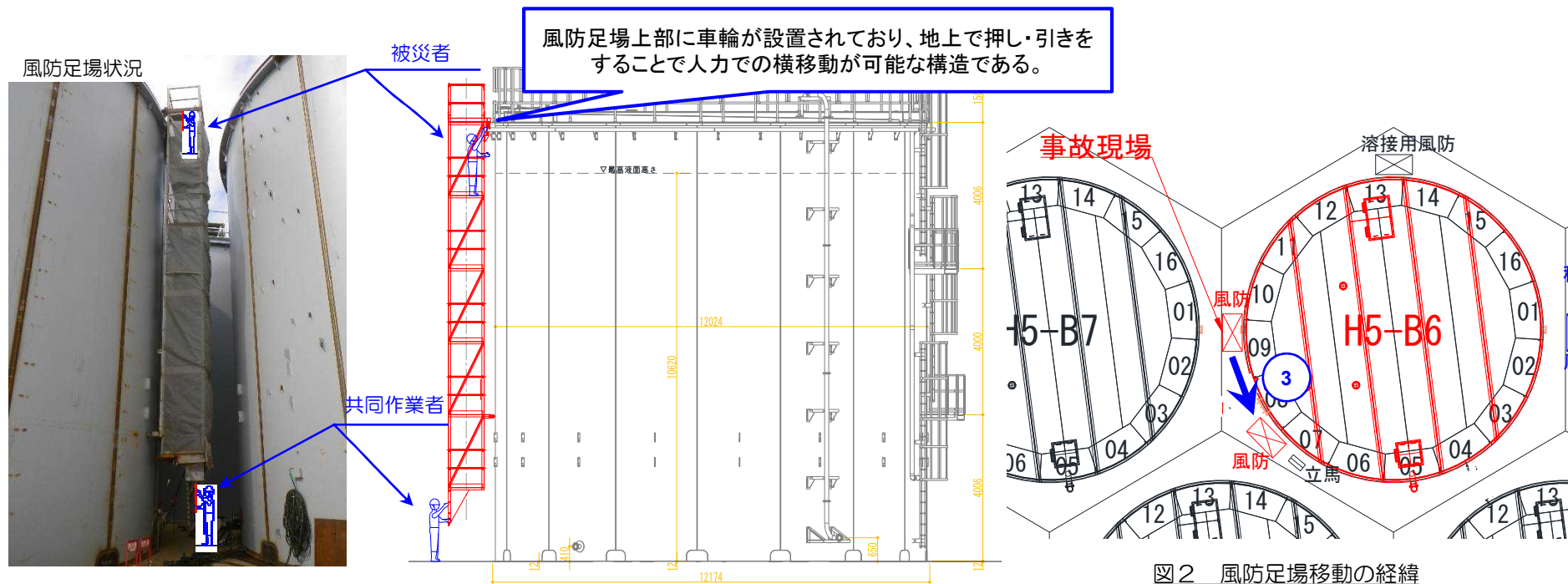


図1 風防足場の全景と作業員配置状況

2. 災害発生時の現場状況（2／2）

- ⑥ 突風により自分では支えきれず風防足場から手が離れてしまい、風防足場は約5m程度逆方向に移動した。（図3）
- ⑦ 被災者は、風防足場が急に逆方向に動き出したため、バランスを崩し、右手小指先を風防足場の車輪とレールの間に挟んでしまった。（図4）

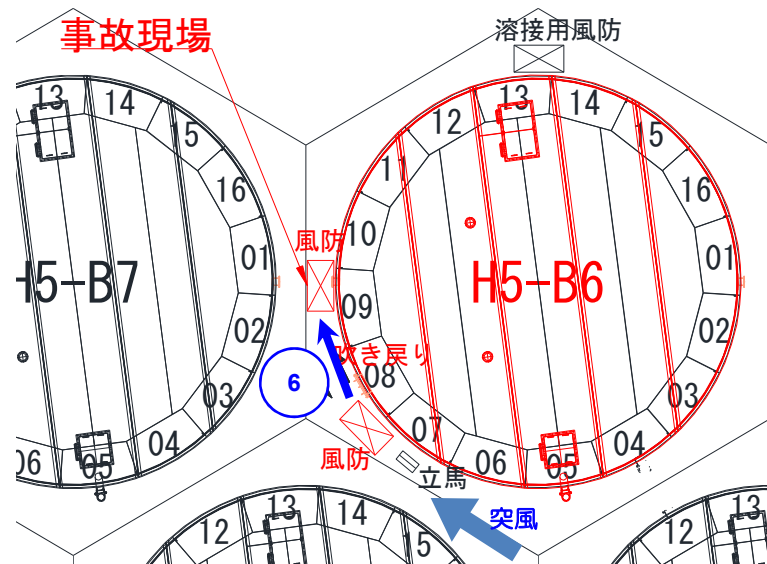


図3 風防足場移動の経緯



図4 被災状況（イメージ）

3. 発生原因と再発防止対策

原因	
物的 要因	<ul style="list-style-type: none"> 風防足場車輪部に指が入る可能性がある構造であった。 風防足場は人力にて容易に動かしやすい構造であるとともに、風に対しても容易に動く構造であった。（作業中や作業終了後は足場の上・下部ともに固定していた）
人的 要因	<ul style="list-style-type: none"> 風防足場移動時に車輪に届く位置に人がいた。
管理的 要因	<ul style="list-style-type: none"> 移動方向にある障害物を事前に撤去しなかった。



再発防止対策

- ① 風防足場の車輪とレールに指が入らないようカバーをする。
- ② 風防足場移動には、足場上に人を乗せない。
- ③ 風防足場移動前に、移動ルート of 支障物を排除してから移動する。